

北海道産いきものの保全プロジェクト

北海道の9つの動物園と水族館が共同で、
北海道の野生動物の保全を目指して積極的に
調査や研究、普及啓発などを実施していくプロジェクト。

わくわく デジタル スタンプラリー 2026

7/18土…12/31木

北海道内の動物園と水族館が協力し、
北海道の生き物の保全を目指すプロジェクト。
それぞれの施設をまわって、
たくさんの北海道の生き物のことを知ろう！

1

域内・域外保全に 係る活動

飼育下の計画的繁殖、
飼育技術の確立、
遺伝的多様性の確保など

2

保全に関する調査・研究

共同研究の促進、
野生動物保全会議の
実施など

3

教育普及啓発

シンポジウムや企画展の開催、
パネルやSNSでの発信、
イベントへの出展など

4

職員研修

保全団体との交流や
フィールドワーク、
研究会など

5

施設の相互利活用

傷病鳥獣の受け入れ、
飼育場所確保に係る
相互利活用など

北海道産いきものの保全プロジェクトInstagram
各園館のいきものの様子や、イベントの情報、
インスタライブなどをお届けしています！



MARUYAMA ZOO

札幌市円山動物園

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

エゾユキウサギ

英名 : Mountain Hare 学名 : *Lepus timidus ainu*



ほっかいどう せいそく おおがた
北海道にのみ生息する大型のウサギ、エゾユキウサギ。
さいだい とくちょう てんてき み かく かんちゅう
最大の特徴は、天敵から身を隠すための「換毛」です。
ねん かい せきせつ じ き ちやいろ ふゆ じゅんぱく け か
年に2回、積雪のない時期は茶色、冬は純白の毛に変わります。

さいごう じそく たっ に あし きやう い てき
また、最高時速80kmに達する逃げ足も驚異的です。
おお うし あし ゆき うえ しず こ
大きな後ろ足は雪の上で沈み込まない「かんじき」の
やくわり は きび ふゆ かんきやう てきおう
役割を果たし、厳しい冬の環境に適応しています。

ASAHIYAMA ZOO

旭川市旭山動物園

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

エゾライチョウ

英名：Hazel Grouse 学名：Tetrastes bonasia



日本では北海道のみに生息するライチョウの仲間
です。本州の高山帯に生息するライチョウ(ニホン
ライチョウ)とは異なり羽毛は夏と冬で変わらず、
冬も羽毛が白く変化することはありません。平野部
や山地の森林に生息し、ハトくらいの大きさですん
ぐりとしたシルエットが特徴です。主に葉や種子、
木の芽などの植物質のものや昆虫などを食べます。

OBIHIRO ZOO

おびひろ動物園

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

エゾリス

英名: Hokkaido Squirrel 学名: *Sciurus vulgaris orientis*



エゾリスは北海道に生息するリスで、体長は20～30cm、体重は250～400gほど。冬には耳先の長い房毛と大きくふさふさした尾が特徴になります。

主に針葉樹の種子や木の実を食べ、地面に貯食する習性を持ちます。

本州に生息するニホンリスよりも体色が灰色味を帯びる傾向があり、北海道の寒冷な森林環境に適応した野生動物です。

KUSHIRO ZOO

釧路市動物園

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

エゾクロテン

英名 : Sable 学名 : *Martes zibellina brachyura*



クロテンはイタチの仲間^{なかま}で、北海道^{ほっかいどう}にはその亜種^{あしゅ}であるエゾクロテン^{せいそく}が生息^{せいそく}しています。

雑食性^{ざっしょくせい}の生き物^{いきもの}ではありますが小型哺乳類^{こがたほにゅうるい}や鳥類^{ちようるい}、昆虫^{こんちゅう}など森^{もり}の中で採^{なか}れる様々^{さまざま}な生き物^{いきもの}を捕食^{ほしょく}しています。警戒心^{けいかいしん}が強く、前足^{つよ}を上げ^{まえあしあ}て2本足立^{ほんあしだ}ちをし、周囲^{しゅうい}を見回^{みまわ}す「目陰^{まかげ}」という行^{こう}動^{どう}を行^{おこな}います。また、鋭^{すどろ}い爪^{つめ}もありエゾリス^おを追^おいかけるなど木登^{きのぼ}りも得意^{とくい}です。

見た目^{みめ}はかわいいですが「冷酷^{れいこく}なハンター^よ」と呼ば^よれています。

OTARU AQUARIUM

おたる水族館

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

オオカミウオ

英名: Bering wolffish 学名: *Anarhichas orientalis*



日本では北海道を中心に主にオホーツク海、ベーリング海^{かい}の岩礁域^{がんしょういき}に生息^{せいそく}しています。鋭い歯^{さといは}と迫力^{はくりよく}のある顔つき^{かおつき}から、「オオカミウオ」と名付けられました。

両顎^{りょうあご}の犬歯^{けんし}と臼歯^{きゅうし}を使って、ホタテガイやケガニ、ウニなどの硬い殻^{かたから}をそのまま噛み砕いて食べます。

体色^{たいしよく}は普段は茶色^{ふだん ちゃいろ}ですが、繁殖期^{はんしよくき}になるとオスは青み^{あおみ}がかった黒色^{くろいろ}に、メスは茶褐色^{ちゃかつしよく}～黄褐色^{きかつしよく}に変化^{へんか}します。

SHINNSAPPORO
SUNPIAZZA AQUARIUM

新さっぽろ サンピアザ水族館

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

クリオネ

英名: Clione 学名: *Clione limacina*



北^{きた}太^{たい}平^{へい}洋^{よう}やオホ^{かい}ー^{えん}ツク^{がん}海^{かい}沿^{えん}岸^{がん}でみ^みら^られる^るクリオネ
は、殻^{から}を^も持^もた^たない^い巻^ま貝^がの^い仲^な間^かで、和^わ名^{めい}は「ハダ^はカ^かカ^かメ^め
ガイ^{がい}」とい^いい^いま^ます。翼^{よく}足^{そく}と^よ呼^よば^ばれる^る器^き官^{かん}を^{つか}使^しっ^て水^{すい}中^{ちゅう}
を^ま舞^おう^うよ^うに^に泳^えぎ^ぎま^ます。

NOBORIBETSU
MARINEPARK NIXE

登別マリンパークニクス

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

サケビクニン

英名 : Pink snailfish 学名 : *Careproctus rastrinus*



水深^{すいしん}100m～600mに生息^{せいそく}している深海魚^{しんかいぎょ}で、ピンク色の体^{いろ からだ}には鱗^{うろこ}はなく、ゼリーのようにプルプルしています。

アゴにあるヒゲのようなものは「味蕾^{みらい}」と呼ばれる感覚器官^{かんかく き かん}で、これを使って暗い深海でも大好物であるエビ^{つか}などを見つけて食べています。また、アゴの下に肛門^{こうもん}がある不思議な魚です。

登別沖^{のほりべつおき}にも生息^{せいそく}しており、エビかご漁^{りょう}に紛れ込んだサケビクニンを、漁師^{りょうし}さんからいただき展示^{てんじ}しています。

CHITOSE AQUARIUM

サケのふるさと 千歳水族館

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

アメマス

英名: White-spotted charr 学名: *Salvelinus leucomaenis*



アメマスは北海道を含め、日本の北の地域に広くす
むイワナの仲間で、体に並ぶ白い斑点が特徴です。
個体や地域によって色や模様が異なり、千歳川上流
にある支笏湖のアメマスは、体の色が黄色みがか
り、より細かな模様が見られたりします。アメマスには
川や湖で一生をすごす残留型と海へ下る降海型が
いて、降海型は「海アメ」とも呼ばれ、より大きく育
って80cmをこえることもあります。

AOAO SAPPORO

AOAO SAPPORO

北海道産いまもの保全プロジェクト
わくわくデジタルスタンプラリー 2026

キタサンショウウオ

英名:Siberian salamander 学名:*Salamandrella keyserlingii*



キタサンショウウオは、国内では釧路湿原などの限られた地域でのみ生息が確認されている両生類です。

全長は11～13cm。体色は黒っぽい、背面には頭部から尾にかけて金色の帯があり、前肢後肢ともに指が4本であることが特徴です。産卵直後の卵のうは、光を受けると青く輝くことから、“湿原のサファイア”と呼ばれています。